

府中市デジタル田園都市国家構想総合戦略（案）に関するパブリックコメント実施結果

意見募集期間：令和8年1月21日（水）～令和8年2月20日（金）

意見提出者数：2名

意見の件数：9件

意見の詳細と市の考え方 次のとおり

NO.	パブリックコメントによる意見	意見に対する市の考え方
1	府中市の公共交通機関は、JR とバスの運行が統一されておらず、乗り継ぎ時の時刻や支払い方法がバラバラで、利用者にとって非常に不便です。駐車場も旧住宅地に偏っていて、病院やスーパーといった生活に欠かせない施設へのアクセスが悪い状況です。特に高齢者にとってはわかりづらく利用しづらいため、車が生活必需品になっています。しかし、免許返納を求められる中で代替手段がしっかりと整備されていないのは問題だと思えます。	今後の府中市における公共交通機関の在り方として、住民の日常生活を支える最適な交通サービスの構築が必要であり、そのために各公共交通機関の利用実態を注視し、必要に応じて事業者などと協力して改善を図るとともに、公共交通機関の利用者の維持・確保に向けた取組を進めてまいります。
2	府中市は人口の規模に対して飲食店の数が非常に少なく、特に若者向けの飲食店がほとんどありません。お好み焼き屋は多く見られるものの、ピザやスパゲッティ、カレーなど若い世代に人気のある飲食店はほぼ皆無です。唯一、旧平地呉服店の場所にあるカレー屋が懸命に営業を続けていますが、経営が苦しい様子がうかがえます。若い人々が府中市を盛り上げるために努力しているにもかかわらず、市が十分な支援をしていない状況は、市民として非常に残念に感じます。新しい店舗が軌道に乗るまでの間、資金援助や店舗の PR を積極的に行い、若者が挑戦しやすい環境を整えてほしいです。	本市の人口移動を鑑みると、特に20代から30代の若者世代の転出が多くみられ、今後、当市の活力を維持していくための大きな課題であると認識しています。本計画に基づき、若者をはじめすべての市民が活躍し、安心できる場所となるため、市独自の取組はもちろんのこと、県や地域と協働で若者が過ごしやすく、帰ってきやすい環境づくりなど取り組んでまいります。
3	蔦屋書店の閉店から数年が経過し、市内には現在書店が1店舗もありません。図書館は存在していますが、その役割は書籍の網羅的な保存や収集であり、書店のように最	現在市が取り組んでいる起業・創業支援の周知を図り、市内で新たに起業・創業を志す方がチャレンジしやすい環境を促進すること

	<p>新情報を提供する場ではありません。書店では、ネットでは得られない新しい情報に触れることができ、多くの人々が文化的な生活を楽しむ場となります。広島空港内にあるような小規模の書店でも十分効果があります。市民が現代の最新情報に触れられる環境を整えることで、府中市は教育・文化の充実に取り組み、未来の人材育成につながるまちづくりを目指せるはずです。</p>	<p>で、地域産業の活性化に努めてまいります。</p>
4	<p>「ふちゅうライフデザイナー」の存在が一般の方にも知られるよう、認知度を高める必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>ふちゅうライフデザイナーに限らず、市の取組やまちの魅力など、積極的にPRしていきたいと考えています。そうした思いから、本総合戦略においても、「つたえるプロジェクト」という形で広報強化を市の戦略の一つに掲げています。</p>
5	<p>府中駅前のトイレは男女共用となっており、時代に合っていない。別々に分けてほしいが、市はどう考えていますか。</p>	<p>市も同様の考えであり、グランドデザインに基づき、府中市の玄関口としてふさわしい整備を進めていきたいと考えています。</p>
6	<p>図書館には自習ルームがあり、受験勉強をする学生もいます。図書館広場を賑わいづくりの拠点にした場合、自習ルーム利用者の妨げになることを懸念しています。</p>	<p>図書館広場だけでなく、府中駅周辺に点在する施設が賑わいづくりの拠点であり、また、必ずしもすべての取組が騒音につながるものではないと考えます。 ただし、学生の学習機会を奪うことのないよう配慮しつつ、にぎわいづくりのための取組に努めてまいります。</p>
7	<p>マイ・タイムラインを作成している自主防災組織の目標値が60%は低いのではないですか。また、現状が37%というのも低いと思います。市がもっと強く投げかけるべきでは。</p>	<p>マイ・タイムラインは、市民一人ひとりが自助のために作成するものです。市としては、市民の安全確保のために必要なものであるため、引き続き講習会等を通じて目標値の達成に努めます。</p>
8	<p>戦略に掲げる内水浸水対策だけでなく、外水氾濫についても検討いただきたい。府中</p>	<p>本戦略においては、これまで機能強化に向けて進めてきた中須ポン</p>

	<p>市が支川内で賑わいづくりを行う場所において、川沿い住民が治水の安全安心を感じて暮らせる治水があって、それを損なわない範囲内での賑わいづくりができる。それが、市が言う、賑わいと治水をあわせもつ、という考え方でないと困ります。</p>	<p>プ場の整備や、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）での経験を踏まえた水路改修、樋門管理等に引き続き取り組むべく内水排水対策を取り入れておりますが、外水氾濫への対策については、河川の管理者である国や県に対し、土砂の浚せつなど必要な要望を行ってまいります。</p>
9	<p>あるきたくなるプロジェクト「駅南エリアにおける公共施設や官民連携施設を活用した回遊性の促進」は、南北連絡橋か南北連絡通路で駅の南北を結ばないと、今以上の賑わいの出し方はむずかしいと思う。南北の分断を解消し、北と南の往来を橋か通路で結ぶ必要がある。これが実現してこそ府中駅周辺は生まれ変わることが出来て回遊性を生むことができる。市が積極的に関わって実現してほしい。</p>	<p>当市への往来の多くが自動車という状況で、府中駅をどう位置付けて整備を進めていくかは今後も議論が必要であると考えます。その上で、府中駅を中心とする賑わいの創出に向けては、福塩線対策協議会での議論や今後の市の財政状況などを総合的に勘案しつつ、回遊性の向上に努めてまいります。</p>